

令和元年度とちぎ健康福祉協会事業報告

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

I 概要

平成から令和へと新たな時代となった令和元年度は、「とちぎ健康福祉協会基本計画（三期計画）」の2年目に当たり、「利用者一人ひとりが、その人らしく、地域社会において健やかに育ち、心豊かに暮らすことを支援する ―健康経営 みんなの力で あふれる笑顔―」の基本理念のもとに、計画に掲げた事業の着実な実施に努めた。

社会福祉充実計画に基づき実施している桜ふれあいの郷建替整備事業について、新築工事の契約を締結し、令和2年12月の完成を目指し建設に着手するとともに、課題であった新たな人事管理制度の構築については、職員が持つ能力を十分発揮させ、やりがいをもって働くことができる職場づくりを目指して、外部コンサルタントを活用し、職員によるプロジェクトチームを立ち上げ、検討に着手した。

また、とちぎ健康づくりセンター・とちぎ生きがいくりセンターの指定管理業務については、平成31年4月1日から第4期となる5年間の事業運営を開始し、新たに施設利用料等のコンビニ収納サービスを実施するなど、利用者のサービス向上に努めた。

一方、令和元年10月に発生した令和元年東日本台風（台風19号）の影響により、介護支援専門員実務研修受講試験を中止し再試験を実施したほか、世界的な感染拡大となった新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、シルバー大学校やとちぎ健康づくりセンターにおいて休業措置がとられ、社会福祉施設においても、利用者のより一層の健康管理に努め、外出や面会の制限措置をとるなどの対策を講じるとともに、職員に対する体温測定、マスク着用、手指消毒の徹底など、感染の防止に万全を期して取り組んできた。

このような影響が生じたところであるが、全体としては、計画に掲げた事業を概ね実施することができ、平成30年度末で廃止した栃木県障害者保養センター那珂川苑を除き、収支については、前年度並みの実績を確保することができた。

（令和元年東日本台風の影響）

- 介護支援専門員実務研修受講試験及び実務研修関係
 - ・試験の中止及び再試験の実施
 - ・試験合格者対象の実務研修の実施延期

（新型コロナウイルス感染症の影響）

- 地域子育て支援拠点事業（子育てサロン宝木）の休止
- シルバー大学校の休業等
 - ・シルバー大学校の休業
 - ・創立40周年記念事業の中止
- とちぎ健康づくりセンター・とちぎ生きがいくりセンターの休業
 - ・プール・トレーニング室等の利用休止
 - ・講堂、会議室等の貸館の利用休止

Ⅱ 管理部所管事業

1 総務課

(1) 事業執行概要

協会本部としての総合的な企画調整機能及び経営管理体制の充実強化を図るとともに、各施設等との連携により、協会の自主自立経営を図るために必要な事業を実施した。

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

○ 桜ふれあいの郷施設建替整備

ア 桜ふれあいの郷建替整備新築その他工事 2 の 1

事業名	期間	契約額	業者名
桜ふれあいの郷建替整備新築その他工事 2 の 1	令和元年 10 月 1 日～ 令和 2 年 12 月 23 日	2,181,300,000 円	浜屋・船山・岡村 特定建設工事共同企業体

イ 桜ふれあいの郷建替整備新築その他工事 2 の 2

事業名	期間	契約額	業者名
桜ふれあいの郷建替整備新築その他工事 2 の 2	令和元年 12 月 18 日～ 令和 2 年 12 月 11 日	1,455,520,000 円	小堀・東昭・荒牧 特定建設工事共同企業体

※ 全体整備計画

年度	実績及び計画
平成 29 年度	基本計画策定、基本設計
平成 30 年度	基本設計・実施設計、体育館解体等工事
令和元年度	建物新築工事着手
令和 2 年度	建物新築工事完了、引越、既存施設解体工事設計
令和 3 年度	既存施設解体工事

○ 競争試験、専門職試験、学校長推薦による職員採用の実施

職種	一般職			専門職		合計
試験方法	学校長推薦	競争試験 (第 1 回)	競争試験 (第 2 回)	競争試験 (管理栄養士)	競争試験 (保健師)	
実施時期	令和元年 7 月	令和元年 8 月	令和 2 年 1・2 月	令和元年 11 月	令和 2 年 2 月	
採用人数	保育士 1 名	支援員 4 名 保育士 3 名	支援員 3 名	管理栄養士 2 名	保健師 1 名	14 人

② 自主自立経営の確立

○ 新たな人事管理制度の構築

事業名	期間	契約額	業者名
新たな人事管理制度の構築	令和2年1月1日～ 令和3年3月31日	6,490,000 円	(株)エイデル研究所

○ 職員提案制度の活用

経費削減に関する提案 1 件

(2) 事業実績

ア 評議員会の開催

回数	開催年月日	内容
第 62 回	31. 4. 1	・ 役員の選任について
第 63 回	1. 6. 26	・ 平成 3 0 年度とちぎ健康福祉協会決算について 他
第 64 回	1. 7. 31	・ 独立行政法人福祉医療機構からの借入れに係る担保の提供について 他
第 65 回	2. 3. 27	・ 社会福祉法人とちぎ健康福祉協定会款の変更について

イ 理事会の開催

回数	開催年月日	内容
第 85 回	31. 4. 1	・ 理事長の選定について
第 86 回	1. 6. 11	・ 平成 3 0 年度とちぎ健康福祉協会事業報告について 他
第 87 回	1. 6. 26	・ 理事長の選定について 他
第 88 回	1. 7. 22	・ 桜ふれあいの郷建替整備新築その他工事に係る契約締結の方法等について 他
第 89 回	1. 10. 25	・ 新たな人事管理制度の構築について 他
第 90 回	1. 11. 26	・ 基本財産の取得について 他
第 91 回	2. 3. 17	・ 社会福祉法人とちぎ健康福祉協定会款の変更について 他

ウ 評議員選任・解任委員会の開催

開催年月日	内容
1. 7. 4	評議員の選任について

エ 監事監査の実施

開催年月日	内容
1. 5. 24	平成 3 0 年度事業執行及び決算

オ 課長施設長等会議の開催

開催年月日	内容
31. 4. 19	懸案事項、働き方改革他
1. 10. 25	基本計画（三期計画）の検証、組織見直し、新たな人事管理制度の構築他
2. 2. 27	新型コロナウイルス感染症対策、事業計画他

カ 職員研修の実施

開催時期	内容
31. 4、1. 12	令和元年度新採職員研修（前期・後期）
1. 7	事務担当者研修
1. 10	令和2年度採用内定者研修

2 支援業務課

(1) 事業執行概要

地方独立行政法人栃木県立リハビリテーションセンター障害者自立訓練センター（駒生園）の利用者支援に係る業務を受託し、利用者の自立と社会参加を促進するための支援等を行った。

（主な事業）

① 質の高いサービスの提供

- 個々の障害特性に配慮した説明や選択肢の提示による利用者の意思決定支援
- 障害者の虐待防止や権利擁護に関する研修受講等による虐待防止の徹底
- 苦情や相談受付担当者の設置による苦情解決や相談体制の充実
- 高次脳機能障害研修や福祉人材研修の参加等による職員の資質向上

3 わかくさ

(1) 事業執行概要

母子のDV被害からの退避や回復、親子関係の再構築や社会的な自立の促進及び子どもの貧困対策の推進などの取り組みの連携を強化しながら、母子が健全な社会生活を営めるよう支援した。

また、安定的な経営基盤を維持するための自主自立経営への取り組みや、施設の存在価値を高める為の地域貢献の取り組みを行った。

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

- 個別対応職員による母子の良好な関係構築
- 心理療法担当職員による母子の心のケアの実施
- 母親のニーズに応じた施設内保育の実施
- 母親の就労に向けた資格取得、民間事業者と連携した就労支援の実施
- 子どもの健全な育成を目指した学習支援や体験活動の実施
- 貧困連鎖防止を図るための母親教養講座や季節の行事の実施
- 常直体制による夜間の安全確保
- 関係機関との緊密な連携による利用者の保護や自立支援の実施

② 自主自立経営の確立

- 専門研修への積極的な参加及び加算算定による増収の実施
- 記録管理システムの活用による事務の効率化
- 施設見学の積極的受入
- 実地調査による入所受入

③ 地域社会への貢献

- 委託事業の一時保護事業、独自事業の緊急一時利用の受入
- 秋祭りでの地域住民の招待とボランティア受入

(2) 事業実績

ア 母子生活支援施設 定員20世帯

	平成30年度			令和元年度		
	年間延利用者数 (月単位)	月平均	稼働率(%)	年間延利用者数 (月単位)	月平均	稼働率(%)
世帯数(世帯)	212	17.7	88.3	215	17.9	89.6
家族人数(人)	596	49.7		591	49.3	
母親(人)	212	17.7		215	17.9	
児童(人)	384	32.0		376	31.3	

イ 年度末の入所利用者の状況（令和２年３月３１日現在）

(ア) 母親の状況

区分	１０代	２０代	３０代	４０代	５０代以上	合計
母親（人）		３	８	８		１９

(イ) 世帯当たりの人数

区分	２人	３人	４人	５人以上	合計
世帯数（世帯）	１１	５	１	２	１９

(ウ) 児童の状況

区分	未就学児	小学生	中学生	高校生以上	合計
児童（人）	１０	２２	１		３３

ウ 一時保護受託事業

区分	平成３０年度	令和元年度
年間延利用日数（日）	４７	６９
実世帯数（世帯）	３	３

エ 緊急一時利用事業

区分	平成３０年度	令和元年度
年間延利用日数（日）	１９	８
実人数（人）	２	６

オ 実施行事

時期	内容
４月	○入学祝い
５月	○端午の節句 ○ＤＶＤ鑑賞会 ○母の日のプレゼント作り ○母と子のつどい（第１回）
６月	
７月	○母親教養講座（第１回） ○七夕会 ○ラジオ体操
８月	○小学生調理体験 ○夏休み体験学習（科学館） ○ＤＶＤ鑑賞会 ○食事会（流しそうめん） ○夏休み体験学習（那須烏山）

時期	内容
9月	○食事会（母親対象） ○わかかさ秋祭り
10月	○ハロウィンイベント ○遠足（茂木 6年生） ○母と子のつどい（第2回）
11月	○七五三のお祝い ○母親教養講座（第2回） ○親子ふれあい体験
12月	○動物ふれあい体験 ○正月準備 ○クリスマス会
1月	○正月遊び ○書初め ○お茶会
2月	○社会教育活動 ・スケート ○ボウリングゲーム ○節分 ・いちご狩り
3月	○ひなまつり ○小学生女兒向け性教育 ○DVD鑑賞会 ○貸出図書・DVDの整備
定例	○書道教室（毎月第1・3水曜日） ○英語教室（月2回） ○セカンドステップ（月1回） ○母親常会（偶数月） ○施設内保育（随時） ○「蒲公英」発行（月1回） ○学習支援（随時） ○お絵かきクラブ（月1回） ○誕生祝い（随時） ○子ども常会（随時） ○日本語教室（月2回） ○学生施設実習（随時）

カ 関係機関との連携

- (ア) 福祉事務所との連絡会議（年2回）
- (イ) 保育園との連絡会議（あゆみ北保育園、西が岡保育園、松原保育園、宝木保育園：年2回
ありんこ保育園：年1回）
- (ウ) 小学校との連絡会議（晃宝小学校：年2回）

4 桜ふれあいの郷

(1) 事業執行概要

利用者の権利擁護に努め、自己選択や自己決定の意思及び人格を尊重するとともに、個々の能力に応じた自立と社会活動への参加を促進した。

また、利用者の心身の状態や地域生活への意欲等を勘案しながら、グループホーム等地域生活への移行を進めるとともに、地域で生活する障害児者及びその家族に対する支援の拠点となる「障がい者支援センターふれあい」において、様々な福祉サービスの提供を行った。

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

- 虐待防止委員会を中心とした自己チェックの実施による虐待防止の徹底
- 倫理綱領、職員行動指針の徹底
- リスクの早期発見、改善に努める等リスクマネジメントの徹底
- 成年後見制度の活用による利用者の権利擁護
- 利用者の体調急変に対する適切な対応を目的とした救命救急講習会の受講
- 桜ふれあいの郷施設建替整備に係る新築工事の着手
- グループホームポプラ建物の取得
- 送迎車両の更新（ハイエース）
- 老朽化したグループホームの修繕、スロープ・手摺設置などによるバリアフリー化への対応

② 自主自立経営の確立

- 省エネ、経費節減に配慮した桜ふれあいの郷施設建替整備新築工事の着手

③ 地域社会への貢献

- 施設体験研修及び交流行事の実施
- 栃木県障害・施設事業協会のセーフティネット拠点事業の継続実施
- いちごハートねっと事業への継続参加（おこまり福祉相談事業、物品の貸出）
- 栃木県災害福祉支援チーム（DWA T）への登録

(2) 事業実績

ア 児童施設

(7) 障害児入所施設（定員 15 名）

	平成 30 年度				令和元年度			
	年間延利用	開所日数	平均	稼働率	年間延利用	開所日数	平均	稼働率
	者数(人)	(日)	(人/日)	(%)	者数(人)	(日)	(人/日)	(%)
延利用者数	5,796	365	15.9	105.9	5,116	366	14.0	93.2
内、措置人数	4,380	365	12.0	109.0	3,692	366	10.1	91.7
内、契約人数	1,416	365	3.9	97.0	1,424	366	3.9	97.3

(4) 障害者支援施設（併設）（定員 生活介護 15 名 施設入所支援 15 名）

	平成 30 年度				令和元年度			
	年間延利用	開所日数	平均	稼働率	年間延利用	開所日数	平均	稼働率
	者数(人)	(日)	(人/日)	(%)	者数(人)	(日)	(人/日)	(%)
生活介護	3,862	263	14.7	97.9	3,907	262	14.9	99.4
施設入所支援	5,433	365	14.9	99.2	5,463	366	14.9	99.5

イ 生活支援施設

障害者支援施設（定員 生活介護 140 名 施設入所支援 135 名）

	平成 30 年度				令和元年度			
	年間延利用	開所日数	平均	稼働率	年間延利用	開所日数	平均	稼働率
	者数(人)	(日)	(人/日)	(%)	者数(人)	(日)	(人/日)	(%)
生活介護	32,977	263	125.4	89.6	32,761	262	125.0	89.3
施設入所支援	45,625	365	125.0	92.6	45,104	366	123.2	91.3

ウ 就労支援施設

障害者支援施設（定員 生活介護 25名 就労継続支援B型 55名 施設入所支援 40名）

	平成30年度				令和元年度			
	年間延利用	開所日数	平均	稼働率	年間延利用	開所日数	平均	稼働率
	者数(人)	(日)	(人/日)	(%)	者数(人)	(日)	(人/日)	(%)
生活介護	5,907	263	22.5	89.8	5,703	262	21.8	87.1
就労継続支援B型	13,044	263	49.6	90.2	12,521	262	47.9	86.9
施設入所支援	14,371	365	39.4	98.4	14,002	366	38.2	95.6

エ 障がい者支援センターふれあい

共同生活援助事業所（定員54名）

	平成30年度				令和元年度			
	年間延利用	開所日数	平均	稼働率	年間延利用	開所日数	平均	稼働率
	者数(人)	(日)	(人/日)	(%)	者数(人)	(日)	(人/日)	(%)
共同生活援助	18,995	365	52.1	96.4	18,511	366	50.6	93.7

オ 年度末の入所利用者の状況（令和2年3月31日現在）

（人）

	児童施設 (障害児入所施設)	児童施設（併設） (障害者支援施設)	生活支援施設	就労支援施設	障がい者支援センターふれ あい(共同生活援助)
10歳未満					
10代	11				1
20代		4	8	2	7
30代		5	11	6	6
40代		6	24	17	7
50代			26	6	11
60代以上			58	8	20
合計	11	15	127	39	52
平均年齢（歳）	14.8	35.6	56.4	48.5	51.1
平均障害支援区分	—	5.7	5.5	4.3	3.4

カ 短期入所（定員 児童施設 1 名 生活支援施設 4 名 就労支援施設 2 名）（人）

区分	平成 3 0 年度			令和元年度		
	児童	生活	就労	児童	生活	就労
年間延利用者数	8	1 9 8	1 3 1		1 5 7	7 3
実人数	1	7	2		8	3

キ 日中一時支援事業（定員 1 5 名）（人）

区分	平成 3 0 年度	令和元年度
年間延利用者数	2, 3 6 5	2, 0 8 8
実人数	1 9	1 8

ク 一時保護受託事業（人）

区分	平成 3 0 年度	令和元年度
年間延利用者数	2 8 7	3 8
実人数	3	2

ケ 障がい者支援センターふれあい実施事業

事業名	区分	平成 30 年度	令和元年度	備考
職場適応援助者（ジョブコーチ）支援事業	利用者支援（件）	7	35	訪問型職場適応援助者 1 名
	ケース会議等（件）	1	3	
障害者就業・生活支援センター	相談支援件数（件）	1, 213	1, 151	就業支援担当者 3 名（専従 3） 生活支援担当者 2 名（専従 1、兼務 1）
	基礎訓練実施件数（件）	3		
	職場実習件数（件）	21	19	
	就職件数（件）	54	47	
	相談・支援を行った事業所数（か所）	128	132	
	事業主相談・支援件数（件）	690	765	

事業名	区分	平成 30 年度	令和元年度	備考
相談支援事業	計画相談支援（件）	543	836	サービス利用支援 164 件 継続サービス利用支援 672 件
	障害児相談支援（件）	63	83	サービス利用支援 35 件 継続サービス利用支援 48 件
	地域相談支援（件）		4	
	障害者相談支援事業（件）	921	871	さくら市受託事業
	障害支援区分認定調査業務（件）	28	22	さくら市受託事業
福祉サロン	年間延利用者数（人）	1,412	1,272	グループホーム利用者 1,223 人 在宅障害者 49 人

コ 就労支援事業

(ア) 作業内容

種別	内容
農産	野菜の生産、農産物の受託栽培、当施設で生産したさつまいもを原料にした焼酎の販売
受託加工	Tシャツやポロシャツ等へのプリント加工、自動車部品のバリ取り、餃子の箱組み立て、ダンボール組仕切り、ラテックス手袋たたみ、パンフレット差込み
除草作業	敷地内緑地等の除草作業（3箇所）
焼き菓子・パン製造販売	焼き菓子：所内外及びクリスマス等季節のイベントギフトの製造販売 パン：イベント等での出張販売、施設内給食への販売、所内外への製造販売
クリーニング	施設内利用者の衣服のクリーニング
リサイクル	アルミ缶等の回収・リサイクル
その他	施設外農作業（受託）：野菜の作付け、収穫、出荷作業等

(イ) 利用者工賃（1人当たり平均工賃月額）

(円)

項目	平成30年度	令和元年度
1人当たり平均工賃月額	13,566.5	12,229.2
目標工賃月額	15,500	15,550

サ 実施行事

時期	児童	生活	就労	障がい者支援センター ふれあい	共通
4 月	○南那須特別支援学 校入学式	○春の旅行 ○家族食事会	○家族食事会	○花見	○家族交流食事会
5 月		○春の旅行		○さくら市一斉清掃 ○春の食事会	
6 月	○家族食事会 ○特別支援学校運動 会	○春の旅行	○旅行	○旅行	
7 月		○あざみ祭り	○家族食事会	○ボウリング大会	
8 月	○残課利用者食事会		○残課利用者食事会		
9 月		○秋の旅行	○旅行	○熟田小学校運動会	
10 月		○秋の旅行		○さくら市福祉祭り	○桜ふれあいの郷 まつり
11 月	○こぶし祭		○旅行	○障がい者支援セン ターふれあい交流 会	○栃木県障害者文化 祭
12 月	○クリスマス会	○クリスマス会	○クリスマス会 ○那須烏山マラソン 大会	○クリスマス会	
1 月	○残課利用者食事会	○新年会		○映画鑑賞会	
2 月				○映画観賞会 ○さくら市一斉清掃	
3 月		○課内食事会	○課内食事会	○なかよし会総会	
定例	所外活動	所外活動	所外活動		

シ 実習等の受入れ

(ア) 初任者研修（教員） 13名（13校）

(イ) 保育実習（学生） 7名（東京福祉大学、聖徳大学、足利短期大学、佐野日本大学
短期大学）

5 清風園

(1) 事業執行概要

利用者の権利を擁護し、自己選択や自己決定を尊重しながら、自立と社会参加を支援することで、利用者の自己実現が図られるよう、提供するサービスの充実を図った。

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

- 権利擁護委員会、虐待防止委員会及び苦情解決第三者委員会の活用による利用者本位のサービスの提供
- 権利擁護、虐待防止及び意思決定支援に関する研修の受講
- リスクマネジメント委員会におけるアクシデント事例の検証及び分析
- とちぎ健康の森フェスにおける草木染め体験コーナーへの参加、シルバー大学校生によるアフリカンダンス等の実演による法人内事業との連携
- 特殊浴室の空調整備（生活支援施設）
- 車輛の更新（キャラバン、セレナ）による利用者送迎体制の充実

② 自主自立経営の確立

- 事務職員の資質向上を目的とした会計に関する研修の受講

③ 地域社会への貢献

- 近隣の高校の体験実習受入
- 中学生を対象とした福祉の仕事に関する説明会の実施（さくら市自立支援協議会との連携）
- いちごハートネット事業への継続参加
- 施設及び備品の貸出事業の開始

(2) 事業実績

ア 生活支援施設

障害者支援施設（定員 生活介護 53名 施設入所支援 50名）

	平成30年度				令和元年度			
	年間延利用 者数（人）	開所日数 （日）	平均 （人/日）	稼働率（%）	年間延利用 者数（人）	開所日数 （日）	平均 （人/日）	稼働率（%）
生活介護	13,352	312	42.8	80.7	13,723	314	43.7	82.5
施設入所支援	16,967	365	46.5	93.0	17,688	366	48.3	96.7

イ 就労支援施設

障害者支援施設（定員 生活介護 45名 就労継続支援B型 20名 施設入所支援 50名）

	平成30年度				令和元年度			
	年間延利用 者数（人）	開所日数 （日）	平均 （人/日）	稼働率（%）	年間延利用 者数（人）	開所日数 （日）	平均 （人/日）	稼働率（%）
生活介護	10,754	261	41.2	91.6	10,986	265	41.5	92.1
就労継続支援B型	5,372	261	20.6	102.9	5,277	265	19.9	99.6
施設入所支援	17,138	365	47.0	93.9	17,089	366	46.7	93.4

ウ 年度末の入所利用者の状況（令和2年3月31日現在）

（人）

	生活支援施設	就労支援施設
10代		
20代	2	
30代	5	3
40代	5	8
50代	10	10
60代以上	28	27
合計	50	48
平均年齢（歳）	58.9	60.7
平均障害支援区分	5.7	4.4

エ 短期入所（定員 生活支援施設 5名 就労支援施設 2名） (人)

区分	平成30年度		令和元年度	
	生活	就労	生活	就労
年間延利用者数	727	181	518	176
実人数	15	7	13	6

オ 日中一時支援事業（定員 生活支援施設 5名 就労支援施設 2名） (人)

区分	平成30年度		令和元年度	
	生活	就労	生活	就労
年間延利用者数	120	8	160	5
実人数	2	1	3	1

カ 就労支援事業

(ア) 作業内容

種別	内容
受託加工	機械部品組み立て、線香箱詰め、自動車部品のバリ取り
自主製品製造販売	草木染め、巾着袋等小物：イベント等における販売
リサイクル	段ボール、古紙のリサイクル
クリーニング	施設内利用者の衣服のクリーニング、施設内の清掃

(イ) 利用者工賃（1人当たり平均工賃月額） (円)

区分	平成30年度		令和元年度	
	生活介護	就労継続支援B型	生活介護	就労継続支援B型
1人当たり平均工賃月額	7,358.2	17,908.5	6,645.0	18,540.8
目標工賃月額		17,892		18,112

キ 実施行事

時期	生活	就労	共通
4月	○花見会		
5月		○お楽しみ会 ○旅行	○食事会
6月	○劇団やすらぎ公演	○旅行	○春の植栽
7月	○劇団玉手箱公演	○さくら民話の会公演 ○旅行	
8月	○子犬とのふれあい教室	○夏季のお茶会	
9月		○ミニ運動会 ○旅行	
10月	○シルバー大学校ボランティア公演	○お楽しみ会 ○旅行	○食事会
11月		○喜連川中学校吹奏楽部演奏会 ○旅行	○秋の植栽
12月	○クリスマス会・忘年会	○忘年会	
1月	○新年会	○新年会・アフリカンダンスショー	
2月	○節分	○お楽しみ会	○食事会
3月	○ひなまつり	○ビンゴ大会	○食事会
定例	映画会、所外活動、お茶会 カラオケクラブ	映画会、所外活動	

ク 実習等の受入れ

- (ア) 介護実習 14名（国際医療福祉大学、さくら総合専門学校、矢板高校）
- (イ) 施設体験実習 18名（さくら清修高校、のざわ特別支援学校）
- (ウ) 地域活動実習 17名（シルバー大学校）
- (エ) 施設見学 74名（さくら市民生委員、宇都宮峰地区福祉協力員、栃木県社会福祉協議会）

6 宝木保育園

(1) 事業執行概要

保育所保育指針及び宝木保育園の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を考慮した保育サービスの提供を図るとともに、地域に開かれた施設として、子育て相談や交流事業、ボランティアや実習生の受入れ等を実施した。

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

- 保育理念・保育士倫理綱領の周知徹底
- 家庭保育に対する理解と関心を深める機会としての保育参観や保育体験の実施
- リトミック、体操、英語、サッカーの各教室の実施
- 野菜作りやクッキングを通した食育の実施
- 安全な食事提供を目的とした日々の食材管理や放射性物質検査の実施
- 送迎門改修工事の実施

② 自主自立経営の確立

- 多様な保育ニーズに対応した延長保育、休日保育及び一時保育の実施
- 乳幼児の積極的な受入

③ 地域社会への貢献

- 職業訓練を希望する保護者に対する支援としての一時保育の受入
- 県立聾学校幼稚部との交流保育や近隣の保育所、小学校の行事への参加による交流
- 地域の高齢者施設との交流やシルバーボランティアによる絵本の貸し出し及び読み聞かせを通した世代間交流事業の実施
- 地域子育て支援拠点事業（子育てサロン宝木）の実施

(2) 事業実績

ア 保育所 利用定員 160名

	平成30年度			令和元年度		
	年間延利用者数 (月単位 人)	平均(人/月)	稼働率(%)	年間延利用者数 (月単位 人)	平均(人/月)	稼働率(%)
0歳児	215	17.9		184	15.3	
1歳児	356	29.7		360	30.0	
2歳児	360	30.0		360	30.0	
3歳児	360	30.0		360	30.0	
4歳児	384	32.0		384	32.0	
5歳児	336	28.0		384	32.0	
合計	2,011	167.6	104.7	2,032	169.3	105.8

イ 入退所及び年度末の利用者の状況

(人)

	平成30年度			令和元年度		
	入所者数	退所者数	3月31日現在 利用者数	入所者数	退所者数	3月31日現在 利用者数
0歳児	19	1	19	21	1(1)	22
1歳児	13	2	29	12	0	30
2歳児	1		30	1	0	30
3歳児	2		30	0	0	30
4歳児			32	2	0	32
5歳児		28(28)	28	0	32(32)	32
合計	35	31(28)	168	36	33(33)	176

注) () 内は、3月31日付け退所者の再掲

ウ 休日保育

区分	平成30年度	令和元年度
年間延利用者数(人)	649	619
実人数(人)	36	39
開所日数(日)	71	76

エ 延長保育

区分	平成30年度	令和元年度
年間延利用者数(人)	2,626	3,047
実人数(人)	108	97
開所日数(日)	238	228

オ 一時保育

区分	平成30年度	令和元年度
年間延利用者数(人)	173	46
実人数(人)	16	9
開所日数(日)	244	240

カ 地域子育て支援拠点事業

区分	平成30年度	令和元年度
年間延利用者数(人)	4,524	3,520
開所日数(日)	194	178

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月3日から22日まで休止

キ 実施行事

時期	内容
4月	○入園式 ○進級式 ○保護者会総会 ○お花見会（卒園児との交流） ○保護者とのクラス懇談会 ○こどもの日のお祝い
5月	○春の遠足（2・3・4・5歳児）
6月	○交通安全教室 ○観劇会（あゆみ北保育園との交流） ○聾学校との交流（4・5歳児） ○とちぎ健康の森フェス
7月	○夏まつり（卒園児・高齢者との交流） ○保護者体験保育（2月まで） ○お泊り保育（5歳児） ○七夕まつり ○プール開き
8月	○宮っこパレード（4・5歳児）
9月	○観劇会 ○細谷・上戸祭地区敬老会
10月	○運動会（卒園児・高齢者との交流） ○親子レクリエーション（3歳児） ○宮っこフェスタ ○食育遠足（4歳児） ○おそうじ教室（5歳児） ○宝木荘（介護付き有料老人ホーム）との交流
11月	○修園旅行（5歳児） ○親子観劇会 ○宇都宮市北生涯学習センター文化祭(出品) ○マラソン大会（聾学校との交流） ○栃木県障害者文化祭 ○人づくりフォーラム
12月	○おゆうぎ会（卒園児交流） ○誘拐防止巡回指導まもる号（3・4・5歳児）
1月	○お正月あそび（卒園児・高齢者との交流） ○観劇会 ○ミニ発表会（2歳児） ○お別れ遠足（高齢者との交流・5歳児） ○あゆみ北保育園コンサート（5歳児） ○聾学校との交流（3・4・5歳児）
2月	○節分 ○新入園児説明会及び面接 ○保護者との個人面談 ○人間びな撮影（高齢者との交流）
3月	○ひなまつり ○卒園式 ○新入園児説明会及び面接 ○お別れ会食
定例	○誕生会（月1回） ○英語教室（年10回） ○サッカー教室（年5回） ○保健（保健日より年3回発行） ○図書ボランティア（毎週金曜日） ○リトミック教室（年10回） ○体操教室（年6回） ○食育（食育講座・食育だより年3回発行） ○朗読ボランティア（月1回） ○学習ボランティア（月1回）

ク 実習等の受入れ

- (ア) 保育実習（学生） 9名（作新学院大学女子短期大学部、宇都宮共和大学、白鷗大学、國學院大學栃木短期大学、国際介護福祉専門学校）
- (イ) 宮っこチャレンジ受入 6名（星が丘中学校、宝木中学校）
- (ウ) 高校生体験学習 71名（宇都宮中央女子高校）
- (エ) ボランティア受入（随時）
- (オ) わくわく体験受入

Ⅲ 事業部所管事業

1 事業執行概要

(1) 事業企画課

指定管理事業であるシルバー大学校の運営、及び高齢者生きがいきづくり支援事業として、高齢者の自主的かつ積極的な生きがいきづくりの支援、豊かで生きがいに満ちた高齢社会を形成するため、「はつらつプラン21（七期計画）」や「とちぎ健康21プラン（2期計画）」に沿った生きがいきづくり事業を実施した。

また、とちぎ生きがいきづくりセンター県南支所・県北支所の施設管理について、県民誰もが安全・安心かつ快適に利用できる公の施設として、敷地内緑地や施設・設備の適正な維持管理に努めた。

なお、令和元年東日本台風（台風19号）や、新型コロナウイルス感染症の拡大により事業中止等の影響が生じた。

（令和元年東日本台風の影響）

- 介護支援専門員実務研修受講試験及び実務研修関係
 - ・試験の中止（令和元年10月13日実施予定）
 - ・再試験の実施（令和2年3月8日実施 実施予定日に未実施の都県対象）
 - ・試験合格者対象の実務研修の延期（令和2年度実施予定）

（新型コロナウイルス感染症の影響）

- シルバー大学校関係
 - ・シルバー大学校の休業（令和2年2月26日～）
 - ・創立40周年記念事業の中止（令和2年3月13日実施予定）

（主な事業）

① 質の高いサービスの提供

- シルバー大学校の運営
 - ・地域活動の実践に繋がる地域活動実習の実施
 - ・地域活動団体等とのマッチング授業の実施
 - ・卒業生による活動事例の紹介
- ねんりんピックとちぎ2019の開催
 - ・令和元年5月6日から6月8日まで とちぎ健康の森他にて実施
 - ・スポーツ・文化交流大会及びシルバー作品展
 - ・主催イベント（とちぎ健康の森フェス2019（令和元年6月8日開催））とシルバー作品展の同時開催による事業の周知拡大

- 第32回全国健康福祉祭和歌山大会への選手団派遣
 - ・令和元年11月9日から12日まで 和歌山県内各市町村にて実施
 - ・栃木県選手団派遣及び美術展出版
- 介護支援専門員実務研修受講試験（再試験）の実施
 - 令和2年3月8日実施
- 介護支援専門員の各種法定研修の実施
 - 令和元年6月から令和2年3月まで
- ② 自主自立経営の確立
 - 新入学生の募集期間の延長によるシルバー大学校の学生数の確保
 - 賛助会員の増加への取組
 - ・情報誌「いきいきとちぎ」における会員の地域貢献活動の掲載
 - ・「とちぎ健康の森フェス2019」における展示等による会員の紹介
- ③ 地域社会への貢献
 - シルバー大学校卒業生による健康づくり体験会の実施
 - 「とちぎ健康の森フェス2019」における、ねんりんピック派遣選手等による競技体験コーナーの設置及びステージ発表
 - 情報誌「いきいきとちぎ」の発行による高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報提供（発行回数 年4回、市町・関係機関、公民館・病院等へ無料配布）

(2) 健康づくり課

生活習慣の改善による生活習慣病の予防とその他県民の自主的な健康づくりを総合的に支援するため、「運動・栄養・休養」の視点から様々な健康づくり事業を行った。

特に、「とちぎ健康21プラン（2期計画）」や「健康長寿とちぎづくり推進条例」に基づき設置された「健康長寿とちぎづくり推進県民会議」の一員として、関係機関・団体との連携協働により事業を実施した。

（主な事業）

- ① 質の高いサービスの提供
 - 利用者ニーズに応じた施設利用講習、健康づくり講座、集団指導、体力測定等の実施
 - 利用者のカード更新受付日時の拡大（第1日曜日、第1・3火曜日19時まで）
 - 団体等に出向いた講座や研修会の実施
 - ・地方職員共済組合栃木支部（メタボス撃退講座・ライフプランセミナー等）
 - ・栃木県シルバー人材センター連合会（ロコモ予防等）
 - ・全国健康保険協会栃木支部（身体活動量増加のための支援事業）
 - 利用者の状況や目的に応じた専門職種によるチーム体制での支援

- 健康づくりに関する相談や情報提供、普及啓発
 - ・情報提供コーナーを設置し、月別テーマの掲示
- ② 自主自立経営の確立
 - アンケート等による利用者ニーズの把握やニーズに沿った運動・栄養・休養の各種事業の実施による利用者の確保
 - ・施設利用者の運動目的、達成度の調査、検証による利用者の確保
 - 継続利用に向けた仕組みづくり（運動メニューの作成や集団指導、簡易測定）
- ③ 地域社会への貢献
 - 電話や来訪による随時の健康相談の実施
 - 主催イベント（とちぎ健康の森フェス2019）における、関係団体と連携した無料骨密度測定の実施
 - 足利大学看護学部公衆衛生看護学学生の実習の受入
 - 地域の中学校で実施した職場体験の受入

(3) 健康の森管理課

県民誰もが安全・安心かつ快適に利用できる公の施設として、「とちぎ健康の森」の敷地内緑地の適正管理や施設・設備の維持管理を行った。

また、利用者が公正公平なサービスを享受できるよう情報発信を行い、施設の利用・貸出においては、個人情報の保護に配慮しつつ「おもてなしの心」をもって利用者へのサービス向上に努めた。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大により営業休止等の影響が生じた。

- とちぎ健康づくりセンター・とちぎ生きがいきづくりセンターの休業
 - ・プール・トレーニング室等の利用休止（令和2年2月27日～）
 - ・講堂、会議室等の貸館の利用休止（令和2年3月6日～）

（主な事業）

- ① 質の高いサービスの提供
 - 建物・設備の定期点検、保安警備及び敷地内緑地管理等の維持管理の実施
 - 災害・事故等の危機管理対策としての防災訓練の実施
 - 利用規定の掲示やパンフレットでの周知による公平な施設の利用の確保
 - ホームページへの施設の予約状況の掲載による利用者の利便性の向上
 - サービス向上委員会の開催による利用者アンケートの分析等、利用者ニーズの把握
 - 施設利用時間の開始時間の30分繰り上げ
 - 職員を対象とした「とちぎ健康づくりセンタークレーム対応研修」の開催
 - 利用料コンビニ収納サービスの実施
 - プール、トレーニング室の冬季利用キャンペーンの実施

② 自主自立経営の確立

- 電力・ガスのデマンド監視による最大需要量の抑制
- 一部教室の窓に断熱フィルムを貼付するなど省資源・省エネルギーの取組

③ 地域社会への貢献

- 県民の日及び家庭の日における親子を対象とした運動フロアの無料開放
- 子育て家族向けスポーツ用品の無料貸し出し（とちぎ子育て家族応援事業協賛）
- 「とちぎ健康の森フェス2019」の開催による来場者への施設利用促進及び各種情報発信
 - ・開催日 令和元年6月8日
 - ・会場 とちぎ健康の森
 - ・内容 講演会、コンサート、昔遊びコーナー等の実施

(4) 就業促進課

高齢者が長年培った豊かな経験と知識・技能を生かし、働くことを通して地域社会の活性化に貢献し、健康で生きがいをもった高齢期を送ることができるよう、公益財団法人栃木県シルバー人材センター連合会が、高齢者の希望に応じた就業機会を確保し、安全で適正な就業を提供するため実施した次の事業について支援を行った。

ア シルバー人材センター事業

栃木県内のシルバー人材センター事業の普及啓発、運営の相談、指導及び助言を行うとともに、県内センターの会員確保及びシルバー事業の拡充を支援した。

イ 高齢者活躍人材育成事業

シルバー人材センターでの就業を希望する高齢者を対象に、様々な技能講習を実施し、就業機会の拡大を図った。

2 事業実績

(1) とちぎ健康づくりセンター

ア 施設貸出

(時間)

区分		項目	年間利用時間		月平均利用時間	
			平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度
大会議室			1,301	1,291	108.4	107.6
小会議室			1,210	1,322	100.8	110.1
多目的フロア	A全面		1,017	1,026	84.7	85.5
	A2/3面			2		0.2
	A1/2面		65	70	5.4	5.8
	A1/3面					
	B		710	697	59.2	58.1
	C		1,093	1,222	91.1	101.8
	計		2,885	3,017	240.4	251.4
エアロビクススタジオ			1,388	1,622	115.7	135.2
運動フロア	全面		590	505	49.2	42.1
	1/2面		494	659	41.2	54.9
	1/3面		576	509	48.0	42.4
	1/6面		219	163	18.2	13.6
	計		1,879	1,836	156.6	153.0
合計			8,663	9,088	721.9	757.3

イ 施設利用者

(人)

区分		項目	年間利用者数		月平均利用者数	
			平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度
施設利用講習	大人		2,073	1,697	172.7	141.4
	小人		145	127	12.1	10.6
	計		2,218	1,824	184.8	152.0
施設利用カード更新	更新者数		1,399	1,293	116.6	107.8
	面接者数(再掲)		420	480	35.0	40.0
体力測定			331	281	27.6	23.4
温水プール トレーニングルーム ランニングデッキ リラクゼーションルーム			82,253	73,484	6,854.4	6,123.6
合計			86,201	76,882	7,183.4	6,406.8

ウ 健康づくり事業

(上段：人、下段：回)

区分		項目	年間利用者数		月平均利用者数	
			平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度
施設利用講習	受講者数		2,218	1,824	184.8	152.0
	実施回数		177	160	14.8	13.3
体力測定	受検者数		331	281	27.6	23.4
	実施回数		136	134	11.3	11.2
簡易測定	受検者数		43	20	3.6	1.7
	実施回数		43	32	3.6	2.7
健康づくり講座	受講者数		1,592	1,226	132.7	102.2
	実施回数		17種 101	16種 81	8.4	6.7
集団指導	受講者数		13,461	11,770	1,121.7	980.8
	実施回数		22種 635	19種 486	52.9	40.5
計	受講者数等		17,645	15,121	1,470.4	1,260.1
	実施回数		1,092	893	91.0	74.4

注) 健康づくり講座については、介護予防事業（シルバー大学校）等を含む。

(2) とちぎ生きがいきづくりセンター

ア 施設貸出

(時間)

区分		項目	年間利用時間		月平均利用時間	
			平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度
中央支所	講堂		660	739	55.0	61.6
	演習室A		588	703	49.0	58.6
	演習室B		569	637	47.4	53.1
	多目的ホール		324	412	27.0	34.3
	教室A		387	530	32.3	44.2
	教室B		255	343	21.3	28.6
	教室C		328	478	27.3	39.8
	教室D		212	344	17.7	28.7
	教室E		60	69	5.0	5.8
	教室F		481	528	40.1	44.0
	和室		171	177	14.2	14.7
	テニスコート		3,455	3,269	287.9	272.4
	計		7,490	8,229	624.2	685.8

区分		項目	年間利用時間		月平均利用時間	
			平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度
県南支所	教室A		126	129	10.5	10.7
	教室B		6		0.5	
	教室C		219	272	18.3	22.7
	教室D		66	83	5.5	6.9
	教室E					
	教室F		150	188	12.5	15.7
	演習室			2		0.2
	和室		227	280	18.9	23.3
	屋外運動場					
	講堂兼体育館			10		0.8
	計		794	964	66.2	80.3
県北支所	教室A		351	362	29.2	30.2
	教室B		202	178	16.8	14.8
	教室C		144	140	12.0	11.7
	教室D		224	267	18.7	22.2
	教室E		67	47	5.6	3.9
	教室F		129	139	10.7	11.6
	演習室		113	103	9.4	8.6
	和室					
	多目的ホール		153	143	12.8	11.9
	計		1,383	1,379	115.3	114.9
合 計			9,667	10,572	805.6	881.0

イ 栃木県シルバー大学校学生数（令和2年3月31日現在）

（人）

学校名（期別定員）		期別	40期生			41期生			合計		
		性別	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
中央校(320)			103	127	230	147	149	296	250	276	526
南校(120)			46	51	97	72	58	130	118	109	227
北校(120)			50	52	102	45	49	94	95	101	196
合計(560)			199	230	429	264	256	520	463	486	949

(3) ねんりんピックとちぎ及び全国健康福祉祭

事業名	実施日	実施会場	実施内容
ねんりんピックとちぎ 2019	1.5.5～6.8	とちぎ健康の森他	スポーツ・文化交流大会（19 種目 参加者 2,359 名） シルバー作品展（6 部門 出展数 232 点）
第 3 2 回全国健康福祉祭 和歌山大会	1.11.9～12	和歌山県各市町村	栃木県選手団派遣（20 種目 143 名） 美術展出展（出展数 12 点）

(4) 介護支援専門員実務研修受講試験

区分	平成 3 0 年度	令和元年度
実施日	3 0 . 1 0 . 1 4	2 . 3 . 8（再試験）
申込者数（人）	7 0 3	6 8 8
受験者数（人）	6 4 3	4 1 1
合格者数（人）	7 1	8 8
合格率（％）	1 1 . 0	2 1 . 4

(5) 介護支援専門員研修

区分 研修名(法定)	平成 3 0 年度		令和元年度		備考
	実施月	受講者等(人)	実施月	受講者等(人)	
介護支援専門員実務研修	31.1 ～3	受講者数 77 修了者数 77	介護支援専門員実務研修受講 試験再試験に伴い年度内の実 施なし		介護支援専門員実務研修受講試験合格者 に対する研修
介護支援専門員専門研修 (専門研修課程Ⅰ)	30.6 ～9	受講者数 129 修了者数 125	1.6 ～10	受講者数 109 修了者数 106	就業後 6 ヶ月以上の者を対象とし、必要に 応じた専門知識、技能の修得を図る研修
介護支援専門員専門研修 (専門研修課程Ⅱ)	30.8 ～12	受講者数 129 修了者数 127	1.8 ～12	受講者数 133 修了者数 129	就業後 3 年以上の者を対象とし、必要に 応じた専門知識、技能の修得を図る研修
主任介護支援専門員研修	30.12 ～31.2	受講者数 123 修了者数 123	1.12 ～ 2.2	受講者数 133 修了者数 130	ケアマネジメントが適切かつ円滑に提供 されるために必要な業務に関する知識及 び技能を修得する研修
介護支援専門員更新研修 (実務未経験者)	31.1 ～3	受講者数 48 修了者数 44	2.1 ～未定	受講者数 73 ※新型コロナウイルス感 染症対策により 日程延期	更新時に定期的な研修受講機会を確保し、 専門職として能力の保持・向上を図る研修
介護支援専門員更新研修 (実務経験者)	30.6 ～12	受講者数 355 修了者数 351	1.6 ～12	受講者数 357 修了者数 348	
介護支援専門員再研修	31.1 ～3	受講者数 100 修了者数 99	2.1 ～3	受講者数 103 修了者数 64	介護支援専門員として必要な知識、技能の 再修得を図る研修
主任介護支援専門員更新研修	30.10 ～ 12	受講者数 170 修了者数 169	1.10 ～12	受講者数 109 修了者数 106	更新時に定期的な研修受講機会を確保し、 主任介護支援専門員の役割を果たすため に必要な能力の保持・向上を図る研修
合計		受講者数 1,131 修了者数 1,115		受講者数 1,017 修了者数 883	

IV 評議員会・理事会の開催状況

1 評議員会

回数	開催年月日	区分	内容
第 62 回	31. 4. 1	決議の省略	・ 役員の選任について
第 63 回	1. 6. 26	議事	・ 平成 3 0 年度とちぎ健康福祉協会決算について ・ 社会福祉充実計画の変更について ・ 役員の選任について
		報告	・ 平成 3 0 年度とちぎ健康福祉協会事業報告について ・ 桜ふれあいの郷施設建替整備について
第 64 回	1. 7. 31	議事	・ 独立行政法人福祉医療機構からの借入れに係る担保の提供について
		報告	・ 桜ふれあいの郷建替整備新築その他工事に係る契約締結の方法等について ・ 桜ふれあいの郷建替整備新築その他工事に係る工事監理業務の委託について ・ 桜ふれあいの郷建替整備新築その他工事に係る監督員補助業務について ・ 令和元年度とちぎ健康福祉協会資金収支補正予算について
第 65 回	2. 3. 27	決議の省略	・ 社会福祉法人とちぎ健康福祉協会定款の変更について

2 理事会

回数	開催年月日	区分	内容
第 85 回	31. 4. 1	決議の省略	・ 理事長の選定について
第 86 回	1. 6. 11	議事	・ 平成 3 0 年度とちぎ健康福祉協会事業報告について ・ 平成 3 0 年度とちぎ健康福祉協会決算について ・ 社会福祉充実計画の変更について ・ 役員候補者の選定について ・ 第 6 4 回とちぎ健康福祉協会評議員会の開催について
		報告	・ 桜ふれあいの郷施設建替整備について ・ 理事長及び常務理事の職務執行状況について
第 87 回	1. 6. 26	議事	・ 理事長の選定について ・ 常務理事の選定について ・ とちぎ健康福祉協会評議員選任・解任委員会の招集について ・ 評議員候補者の決定について
第 88 回	1. 7. 22	議事	・ 桜ふれあいの郷建替整備新築その他工事に係る契約締結の方法等について ・ 桜ふれあいの郷建替整備新築その他工事に係る工事監理業務の委託について ・ 桜ふれあいの郷建替整備新築その他工事に係る監督員補助業務について ・ 令和元年度とちぎ健康福祉協会資金収支補正予算について ・ 独立行政法人福祉医療機構からの借入れに係る担保の提供について ・ 第 6 4 回とちぎ健康福祉協会評議員会の開催について

回数	開催年月日	区分	内容
第 89 回	1. 10. 25	議事	・ 新たな人事管理制度の構築について ・ 令和元年度とちぎ健康福祉協会資金収支補正予算について
第 90 回	1. 11. 26	議事	・ 基本財産の取得について ・ 令和元年度とちぎ健康福祉協会資金収支補正予算について ・ とちぎ健康福祉協会組織規程の一部改正について
		報告	・ 桜ふれあいの郷建替整備新築その他工事に係る入札等の結果について ・ 予備費の使用について ・ 理事長及び常務理事の職務執行状況について
第 91 回	2. 3. 17	議事	・ 社会福祉法人とちぎ健康福祉協会定款の変更について ・ とちぎ健康福祉協会組織規程の一部改正について ・ とちぎ健康福祉協会事務決裁規程の一部改正について ・ とちぎ健康福祉協会文書取扱規程の一部改正について ・ とちぎ健康福祉協会公印規程の一部改正について ・ とちぎ健康福祉協会職員の給与等の支給に関する規程の一部改正について ・ とちぎ健康福祉協会経理規程の一部改正について ・ とちぎ健康福祉協会職員就業規程の一部改正について ・ とちぎ健康福祉協会嘱託職員就業規程の一部改正について ・ 令和２年度とちぎ健康福祉協会事業計画について ・ 令和２年度とちぎ健康福祉協会資金収支予算について ・ 令和元年度とちぎ健康福祉協会資金収支補正予算について ・ 事務局の長及び施設の長の任免について ・ 役員候補者の選任について ・ 評議員選任・解任委員会委員の選任について
		報告	・ 新たな人事管理制度構築に係る取組について ・ 桜ふれあいの郷建替整備新築その他工事に係る入札の結果について